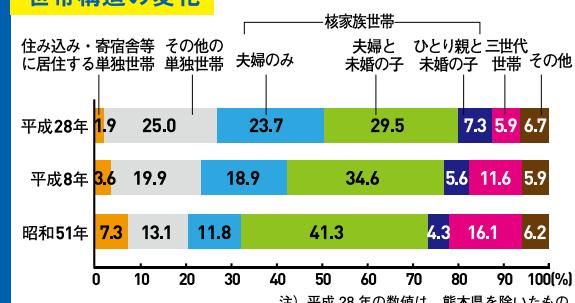


松浦の「食」の可能性。何が売れる？

世帯構造の変化



参照／農林水産省 平成 29 年度 食育白書（平成 30 年 5 月 29 日公表）より
https://www.maff.go.jp/syokoku/wpaper/h29_n/book/part1/chap1/b1_c1_03.html



試食では「無添加」「手作り」など
安心・安全な食が人気。

松浦市産の本マグロを使用し、
東京の職人が作った本マグロ寿司。

青大新聞

Vol.24

松浦の「食」を どこへどう売るか？

松浦市の大きな魅力の一つ「食」。少量だけれど多品目で、それぞれがその業界のプロに高評価をうけるものも多数。これからは、少量だからこそ付加価値を高めて売っていくことが欠かせません。日本の「食」の流行をつくる東京。福岡は、東京の流行が遅れてやってくる場所。福岡で売るにも東京のニーズを知ることは必要です。生まれも育ちも東京の元松浦市地域おこし協力隊の小高さんと様々な情報を元に考えました。

都心の「孤食」に寄り添う商品づくりがカギ。

東日本大震災以降、日本の食は「安心・安全」が重要なキーワード。小高さん曰く東京のイベントでも、「国産」で生産地や生産者が明記されたもの、「無添加」の食品の人気が高いそう。また、日本全体に広がる「孤食」。単身の高齢者や核家族向けの少量の商品や子どもが包丁を使わずに食べられる商品を、高くても買いたい人が増えているそうです。市場を意識した商品づくりで、松浦の魅力的な食の可能性を次世代につなぎたいですね！



松浦を知ろう！学ぼう！楽しもう！くわしくは「青の大学」で検索 /

政策企画課 ふるさと納税・魅力発信室 info@ao-university.com ☎0956-72-1111

松高だより

■大学入試センター試験～受験生は頑張りました～

1月18日・19日の両日、大学入試センター試験が行われ、3年生29名が長崎県立大学佐世保校で受験しました。

受験生たちは多くの生徒や職員が見送る中、松浦駅前からバスで試験会場に向かい、会場に到着した後は、進路指導主事の音頭で気合を入れ、受験教室に入るまでの僅かな時間を利用して、控え場所で懸命に学習に取り組みました。



■県高校新人駅伝～新チーム初戦は堂々の2位発進～

2月1日、長崎県立総合運動公園陸上競技場（諫早市）周辺（6区間・29km）にて県高校新人駅伝競走大会が開催されました。本校陸上部は、序盤から鎮西学院や瓊浦とのデッドヒートを繰り広げ、3区から5区にかけて僅差で首位をキープしました。最終6区で鎮西学院にかわされ、惜しくもトップと9秒差の2位（通算タイムは1時間27分22秒）となりましたが、出場選手全員が区間3位以上の好タイムをマークする安定感抜群のレースを展開しました。新チームの初戦となったこの大会で、3年連続の「都大路」に向けて、上々の滑り出しができました。



